

すばらしい「たすき」をつなげよう！

新年明けましておめでと〜ございます。三学期は、雪景色の中でのスタートとなりました。大人にとっては、少し嫌な雪ですが、子供たちにとっては、雪遊びのできる「恵みの雪」となっているのではないのでしょうか。そんな子供達、今年も事故無く、みんな元気に学校生活を送ってくれることを願っています。

さて、始業式では、年末年始のテレビなどから次のような話をしました。M1グランプリで二年連続優勝した「令和ロマン」は、現状に満足せず、「もっと周りの人を楽しませたい」と思いネタを考え続け舞台上に上がっている。また、紅白歌合戦でのB'zの演出。別のスタジオからNHKホールに突然現れる企画を考えたNHKの人。それを受け入れて歌い上げたB'z。「もっと楽しませる何かができるのではないか。」と考えた結果だったのではないかと思います。そして、箱根駅伝の青山学院大学の優勝。その時、原監督夫人が胴上げされていました。選手のために寮母として「もっと何かしてやれることはないか」と考え、栄養管理のみならず、生活環境を整えたり一人の社会人としての行動を教えたりしていたそうです。

三学期は、まとめの学期です。自分を「もっと」「高めるために、どんなことをしたらよいか考え、新しい学年へステップアップするためにも、自分自身に素晴らしい形で「たすき」をつなげたいですね。また、下学年の見本となり、学校全体が成長できるよう、素晴らしい「たすき」をつなげたいですね。

今年一年も、神石小学校職員一同、児童の健やかな成長をしっかりと支援できるように取組を継続していきたいと考えております。保護者・地域の皆様には、本年も引き続き本校へのご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

校長 田丸 栄